

接続料の算定等に関する研究会

携帯電話料金と接続料等の関係について

KDDI株式会社

2021年2月8日

au

UQ mobile

povo

みんなの5G

みんなってエブリワン！それぞれに選べる自由を

au

使い放題MAX 5G/4G

3月 開始

データ
使い放題

6,580 円/月

混雑時や動画などへの通信制御あり。
テザリング・データシェア・世界データ定額は合計30GB。

安心の使い放題

povo
on au

3月 開始

20GB

2,480 円/月

オンラインでトッピング

UQ
mobile

くりこしプラン

2月1日 開始

3GB

1,480 円/月

15GB

2,480 円/月

25GB

3,480 円/月

シンプル・お手頃価格

お客様のニーズに合わせた「トッピング」を。

月額料金

(4G/5G)

2,480円

20GB

国内通話：20円/30秒

+

ムダなものはいらない。
ほしいものを、ほしいときに、
ほしい分だけ！

国内通話

500円/月

**5分以内
かけ放題**

※ 5G対応は今夏予定

要望事項(1) データ接続料について

- ① データ接続料について、昨今の環境変化を予測値の算定に適切に反映し、MVNOにおいても、MNOと同等のデータ通信品質であってMNO各社の発表した「廉価プラン」に対し競争力ある利用者料金の設定が可能となるよう、「アクション・プラン」の求める適正性の向上を、3年間で5割減との目標を前倒して、また更なる低減を目指して速やかに進めること
- ② 上記①の取り組みには依然として相応の時間を要すると想定される場合は、緊急の措置として、可及的速やかにデータ接続料の引下げをMNO各社に求め実施させること

- **当社データ接続料は2019年度適用から3年間で5割超の減少見込み【2019年度末届出値】**
KDDI：2019年度適用値61.1万円/10Mbps→2022年度25.4万円/10Mbps（58%減）
- **接続料は能率的な経営の下における適正な原価と利潤に基づいて算定する原則を踏まえ、これまでの算定ルールを逸脱しないことが重要であり、当社は持続的成長のために今後も不断のコスト削減を実施し、ネットワーク利用の効率化や将来予測の精緻化を図ることで更なる低廉化に努める【2020年度末届出予定値】**

(参考) データ接続料の推移

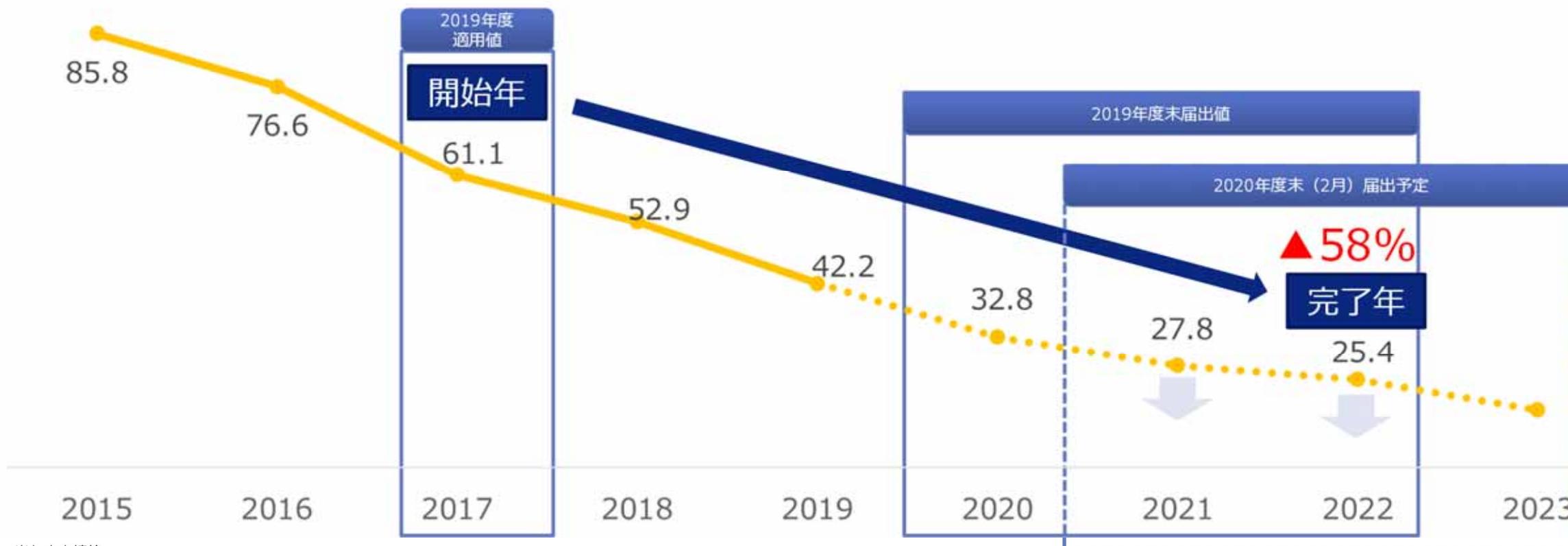
当社データ接続料は2019年度適用値から3年間で5割減となる見込みであり、2023年度以降も更なる低廉化見込み

KDDI : 2019年度適用値61.1万円/10Mbps→2022年度25.4万円/10Mbps (58%減)

実績原価方式

将来原価方式

(単位 : 万円/10Mbps)



※当年度実績値
※2020年度～2022年度単価は将来原価値 (2019年度届出値)

要望(2) 音声卸料金について

MNO各社で予定されている見直し後の音声卸料金の一層の低減および即時適用、プレフィックス番号自動付与機能の早期リリース等について、

- ① MNOとMVNOの事業者間協議が遅滞なく整い、速やかにMVNOのサービスに実装・反映されるよう、協議状況やMNOの対応状況等を確認のうえ、**MNO各社に対し、適時に必要な取り組みを促すこと**

- プレフィックス番号自動付与機能については、今月（2021年2月）に当該機能の接続条件および料金について接続約款を届出予定
- 音声卸料金の低減については、早期提案に向けて準備中

要望(3)イコールフットイングを担保するルールの在り方について

固定通信分野での取り組みも参考にしながら、これまでの各種研究会等での議論の積み残しの課題も取り入れつつ、**将来に亘ってイコールフットイングを担保するための必要なルールの在り方について、速やかに検討に着手すること**

- ① 移動通信市場に大きな影響を与えうるMNO各社の「廉価プラン」について、**接続料及び卸料金と利用者料金との関係の検証(いわゆるスタックテスト)を実施**
- ② **接続料算定ルールの更なる精緻化**(例えば、需要や設備余裕の考え方の整理、会計規則における費用項目等の定義の精緻化)や、**設備部門と利用部門の会計の分離等**

- 当社の新料金プランにおける接続料等と利用者料金の関係の検証について真摯に対応していく所存

なお、具体的な検証方法については、モバイル市場の実態も踏まえた議論が必要

- モバイル市場の一層の活性化に向けて、今後もMNOとMVNO間における競争環境の整備は重要であるが、イコールフットイングの担保の在り方については、追加的なルールの必要性の是非を含め、過度な規制とならないよう検討が必要

- 検証の判定基準となる営業費の基準値は、モバイル市場や各社の実態を踏まえて設定すべき

(1) 利用者料金

基本料金
[円/人・月]

+

音声オプション料
[円/人・月]

—

(2) 接続料等

データ接続料
[円/人・月]

データ実利用(GB)×将来3年平均データAC(GB換算)
※1 ※2

+

音声卸総額※3
[円/人・月]

卸基本料
通話料：MoU×卸通話料単価

+

その他必要経費※4
[円/人・月]

ISP費用、PGW費用等

≧

(3) 営業費の基準値

営業費※5
(1)×●●% 円/人・月

- ※1 同容量の類似プランの実績
- ※2 将来原価接続料の3年平均値
- ※3 卸基本料単価、卸通話料単価
- ※4 設備費用より算定

※5 店舗有無によって基準値が変化

当社は、今後のモバイル市場の一層の活性化に向けて、MNOとMVNO間における公平な競争環境の整備に寄与

- データ接続料について、2019年度適用から3年間で5割超の減少見込みであるところ、2月末届出予定値においては、更なるネットワーク利用の効率化や将来予測の精緻化を図り、低廉化に努める
- プレフィックス番号自動付与機能について、今月に接続条件および料金について接続約款を届出予定。音声卸料金の低減についても早期提案に向けて準備中
- 新料金プランにおける接続料等と利用者料金の関係の検証について真摯に対応

みんなの 5G

みんなってエブリワン！

それぞれに選べる自由を

